

会議名	第1回新城地域協議会		公開
日時	平成30年4月16日(月) 午後7時00分～午後8時40分	場所	勤労青少年ホーム 軽運動場
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、京極善市、陶山典男、夏目文男、 加藤賢一、伊藤美代子、笹田明男、石野敏弘、酒向雅子、本田廣美、 中野泰志、森正彦、後藤幸子、石黒謙治、浅岡勝、奥平宏幸、 村田博和、上田寿彦、今泉栄、谷山義雄		
	(事務局) 企画部：三浦部長 自治振興課：宮本主査 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任 (地域活動支援員) 企画政策課：加藤課長、税務課：林副課長、土木課：横山係長		
欠席者	藤村信芳、鳥山勉	傍聴者	1名
配布資料	次第、地域活動支援員名簿、新城地域協議会委員名簿、新城地域協議会分科会設置規程、新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱、平成30年度新城地域協議会日程表(案)、地域活動交付金パンフレット、新城地域自治区地域活動交付金審査基準、地域活動交付金事業採点票記載例、新城地域協議会だより第25号(地域自治区予算参考資料)、平成30年度新城地位協議会分科会名簿(案)		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 新城自治振興事務所担当、川合の司会進行により、所長挨拶、担当職員及び地域活動支援員が自己紹介を行った。なお、議事4で会長が決定するまでは、事務局が司会進行を行うことについて委員の承認を得た。</p> <p>2 新城地域協議会委員委嘱辞令交付式 地域協議会委員へ委嘱辞令の交付を行った。 その後、協議会委員の自己紹介を行った。</p> <p>3 議事 事務局より会議成立の報告を行った後、会議録について各行政区ごと、東新町区から順番に署名していただくこととなった。</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について 委員の推薦により、今泉仁委員が会長に選任された。 会長就任あいさつをし、以降の議事は会長が司会進行を行った。 副会長の選任にあたっては、議事(2)と議事(3)を一括して協議した。 委員の推薦により、上田寿彦委員、加藤賢一委員、笹田明男委員の3名が副会長に選任された。 会長の職務代理の順は、上田副会長、加藤副会長、笹田副会長の順で決定された。</p>

(2) 新城地域協議会運営要綱について

議事(1)の副会長の選任と、議事(3)を一括して協議した。

これまでの新城地域協議会運営要綱では、「副会長の人数は2人とする」とされていたが、今回の協議会でこの部分を見直し「副会長の人数は協議会で決定するものとする」として決定された。

(3) 分科会の設置について

協議の結果、昨年度と同様に、「地域活動交付金分科会」と「地域自治区予算分科会」「地域計画分科会」を設置することが決定された。

また、分科会委員長は副会長が兼任することが決定され、「地域活動交付金分科会」委員長に加藤副会長、「地域自治区予算分科会」委員長に上田副会長、「地域計画分科会」委員長に笹田副会長がそれぞれ就任した。その後、協議会委員がどの分科会に入るかが決定され、今年度の新城地域協議会の運営体制が整った。

地域活動交付金分科会	自治区予算分科会	地域計画分科会
委員長 加藤 賢一	委員長 上田 寿彦	委員長 笹田 明男
岡山 博	柿原 典子	柿原 典子
陶山 明男	京極 善市	加藤 賢一
石野 敏弘	夏目 文男	伊藤 美代子
酒向 雅子	伊藤 美代子	石野 敏弘
藤村 信芳	笹田 明男	森 正彦
後藤 幸子	本田 廣美	奥平 宏幸
浅岡 勝	中野 泰志	村田 博和
村田 博和	森 正彦	
今泉 栄	石黒 謙治	
谷山 義雄	奥平 宏幸	
	鳥山 勉	

(4) 年間スケジュールについて

今年度の新城地域協議会スケジュール(案)について事務局より説明し、第2回及び第3回の新城地域協議会の日程が決定された。

第2回：平成30年5月17日(木) 内容「審査会事前検討について」

第3回：平成30年6月2日(土) 内容「地域活動交付金審査会」

※ 第3回以降の日程については、木曜日の19時開催を原則として決定した。

4 説明

(1) 地域活動交付金について

第2回新城地域協議会において協議予定の、地域活動交付金審査基準について説明した。また、昨年度から10万円未満の場合の申請はプレゼンテーションを省略することができるようになっていたことを説明した。今年度からは、昨年度の協議会で決定した、プレゼンテーションを省略した場合であっても、審査会に出席し、審査員からの質問に回答することができるようになったことを説明した。また、第2回の地域協議会において、事務局が模擬プレゼンを行い、委員には模擬審査を行ってもらおう予定であることを説明した。

主な意見

委員：地域活動交付金の審査にあたり、第2回の地域協議会で事務局から模擬プレゼン、模擬審査をするということであるが、複数件行うのか。

事務局：昨年度と同様1件を想定していたが、必要に応じて複数件でもよいと考える。

委員：新しく委員になったので、他の委員の皆さんがどのような事業をいい事業と考えるのかを知っておきたい。

事務局：どのような事業がいいのかということは、審査員となる委員の皆さんご自身のこれまでの地域活動等の経験や見聞きしてきたことを基にして判断していただきたい。重要となるのは、その事業の目的がなんなのか、その事業が地域にもたらす効果はなんなのかということであると考えている。

委員：5月24日（木）に交付金分科会が予定されているが、分科会の結果について、審査会前に委員全員に知らせていただきたい。

事務局：では、分科会の結果については、委員全員に郵送させていただくようにする。

(2) 自治区予算について

地域自治区予算事業として実施する事業について紹介した。今年度執行事業については、新城地域協議会の中で随時紹介していくことを説明した。

(3) 地域計画について

昨年度から地域計画づくりをスタートし、昨年度末に地域計画（素案）を策定した。今年度は引き続き実施計画を策定していく。

5 その他

(1) 地域安全灯について

関係する行政区長へ設置するよう依頼した。

(2) 第1回地域計画分科会について

第1回地域計画分科会を開催4月26日（木）に開催予定。開催場所等の詳細について、対象の委員へ案内文を送付することを連絡した。

(3) 第1回地域活動交付金分科会について

第1回地域活動交付金分科会を5月24日（木）に開催予定。開催場所等の詳細について、対象の委員へ案内文を送付することを連絡した。